

請 願 文 書 表	
受理年月日 及び番号	令和4年2月4日 第40号
件 名	小・中学校全学年において早急に少人数学級の実現 を求める請願
請 願 者	文京区本駒込五丁目15番12号 新日本婦人の会文京支部 支部長 小 竹 絃 子
紹 介 議 員	沢 田 けいじ      小 林 れい子
請願の要旨	次 頁 の と お り
付託委員会	文 教 委 員 会

## 請願理由

新型コロナウイルス「オミクロン変異株」の感染急拡大が、大きな問題になっています。特に子どもたちへの感染の急拡大で、保育園・幼稚園・小中学校等で全国的にクラスターが発生、休園・休校や学級閉鎖等が起きています。

文京区内でも1月31日現在、小中学校10校20学級の学級閉鎖と、聞いています。

国は今年度から小学校2年生以下の35人学級を実施し、1年毎にその年齢を引き上げていくことにしています。国の計画のまま現3年生以上は、中1を除き中学卒業まで一クラス40人で学ぶこととなります。

コロナ禍ではマスクの着用と「密」にならないことを、感染予防・拡大防止のために呼び掛けています。

しかし児童・生徒は、日常的に「密」の状態に置かれており、現3年生以上は小学卒業まで、その状態は変わりません。

萩生田前文科大臣が「中学校を含めて、最終的には30人以下が理想だ」と答えています。全国の自治体では、国の35人学級への変更を受けて、自治体独自に前倒しで促進したり、更なる少人数への取組を進めるなど少人数学級を前に進めています。これは全国的な流れになっています。

少人数学級はコロナ禍での「密」を少しでも解消し、子ども達がゆったりと学び、一人一人の個性を生かし学ぶ権利を保障する上でも重要です。

東京都においても教員を増やして、都としても35人学級を小中学校に拡大していただきたく強く要請します。

## 請願事項

- 1 都の責任で、小・中学校の全学年で35人学級を早期に実施するよう求めること。
- 2 あわせて小・中・高の全学年で30人学級の検討に入ることを都に求めること。